

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】令和 3 年 11 月 11 日 (2021.11.11)

【公開番号】特開 2020-75627 (P2020-75627A)

【公開日】令和 2 年 5 月 21 日 (2020.5.21)

【年通号数】公開・登録公報 2020-020

【出願番号】特願 2018-210366 (P2018-210366)

【国際特許分類】

B 6 2 D 21/15 (2006.01)

B 6 2 D 25/08 (2006.01)

【F I】

B 6 2 D 21/15 C

B 6 2 D 25/08 E

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 30 日 (2021.9.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

特に本実施例では、第 1 屈曲容易部 142 は、図 3 (c) に示すように、ロードパス 140 の車内面 140a を凹に屈曲させることにより形成されている。これにより、衝突時に、第 1 屈曲容易部 142 を好適に屈曲させることができる。一方、第 2 屈曲容易部 144 は、図 3 (a) に示すように、ロードパス 140 の車外面 140b に形成された上下方向に延びる開口によって形成されている。これにより、衝突時に、第 2 屈曲容易部 144 を好適に屈曲させることができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

なお、本実施例では、第 1 屈曲容易部 142 を凹状の屈曲とし、第 2 屈曲容易部 144 を開口とする構成を例示したが、これに限定するものではない。すなわち、第 1 屈曲容易部 142 を、ロードパス 140 の車内面 140a に形成した開口とし、第 2 屈曲容易部 144 を、ロードパス 140 の車外面 140b に形成した凹状の屈曲によって構成してもよい。更には、第 1 屈曲容易部 142 および第 2 屈曲容易部 144 の両方を、凹状の屈曲または開口とすることも可能である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

更に本実施例の車体前部構造 100 では、図 2 (a)、図 4 (b) および図 3 (a) に示すように、ロードパス 140 の前端の車外面 140b には、タイダウン固定用部材 160 が取り付けられる。これにより、ロードパス 140 の前端の強度を高めることができる。

。したがって、ロードパス 1 4 0 全体に衝突時の荷重を効率的に伝達し、上述した変形を促進することが可能となる。